

Lage Lund Trio

[Profile]

ラーゲ・ルンド Lage Lund : guitar



ノルウェー出身。13歳でギターを始める。

16歳の時には自己のトリオを組み、クラブでレギュラーの演奏をスタートさせた。

高校卒業後、パリでオーディションを受け、パークリーの奨学金を得て、パークリー音楽大学の特待生となりビル・ピアース、ジョージ・ガズーン、ハル・クロックらに師事した。

在学中には学校の選抜メンバーとしてアメリカ、ヨーロッパの様々なフェスティバル等のツアーに参加する。また、ボストンの老舗ジャズクラブ "Wally's Jazz Café" でドラムのジョン・ラムキン、彼と同様に「セロニアス・モンク・コンペティション」のウィナーであるダレン・バーレットと共に、レギュラーで演奏をしていた。パークリー卒業後フルブライト奨学金を受け、ニューヨークへ移る。

そこでよりジャズの勉強に磨きをかけ、2003年にエレクトリック・ギタリストとして初めてジュリアード音楽院のジャズ課へ入学した。

現在はNYを中心に演奏活動をし、自己のグループの他に、ベーススト、エリック・レヴィスのグループ、ロドニー・グリーン・クインテット、ジャリール・ショー・クインテット、そしてリンカーン・センター・ジャズ・オーケストラの一員としても活動。

1999年にマックス・ローチ奨学金を受ける。

2000年にジミ・ヘンドリックス賞を受賞。

過去と一緒に演奏したアーティストにロイ・ヘインズ、ジェフ・ティン・ワッツ、ゲイリー・パートン、ウイントン・マーサリス、ドナルド・ハリソン、ビル・ピアース、エリック・リード、ダニーロ・ペレス、エリック・レヴィス、テレル・スタフォード他がいる。

<http://www.lage-lund.com/>

マット・ブリューワー Matt Brewer : bass



1983年オクラホマシティ生まれ、幼少よりニューメキシコ州アルバカーキで過ごす。

彼は、父と祖父はジャズミュージシャン、母は熱心な音楽愛好家という音楽一家の中で育つ。

3才でドラムを始め、10才の時に「Interlochen Center for the Arts」のサマープログラムに参加し有名なベース・インストラクター Winston Budrow と Lawrence Hurst, の指導を受ける。

その後、「high school at the Interlochen Arts Academy」に進学する。

在学中に全国から選ばれたグラミー賞バンドのメンバーの一員になる。

高校卒業後、ジュリアード音楽院に進み、ロドニー・ウィテカーとベン・ウルフに師事する。

2年の学生生活の後、プロとしての活動をスタートし、Greg Osby, Gonzalo Rubalcaba, Lee Konitz,

David Sanchez, Terence Blanchard, Aaron Parks, Jeff "Tain" Watts, 等多くのアーティストと仕事をしている。

また、自己のグループでニューヨークのライブハウスやニューメキシコ国際ジャズフェスティバル他

多数のジャズフェスティバルに参加している。

現在、演奏活動の他ニュースクールで後進の指導や世界各地でレッスンやマスタークラスを教えている。

ジョナサン・ブレイク Johnathan Blake : drums



1976年、ペンシルヴァニア州フィラデルフィア生まれ。

父は、ジャズ・ヴァイオリン奏者として有名なジョン・ブレイク Jr。

3歳からヴァイオリンを習うが、10歳でドラムスに転向。学校のマーチング・バンドで演奏するうちジャズに惹かれ、ジョージ・ワシントン高校卒業後、ルーファス・リード、ジョン・ライリー、スティーヴ・ウィルソンとホレス・アーノルドに師事し、ウィリアムパターソン大学で非常に評判の高いジャズプログラムに出席するようになる。

この頃、オリヴァー・レイク・ビッグ・バンドを皮切りに、ロイ・ハーグローブやダヴィッド・サンチェスらと共にプロとしての活動を始める。

マッコイ・タイナーのバンドに入るのを機に、フルタイムの音楽家生活始める。

'06年、ASCAP ング・ジャズ・作曲者賞を受賞する。

また、ラルフ・ボーエン、コンラッド・ハーウィグ、スタンリー・カウエルに師事し、'07年には、ラトガーズ大学の修士号も獲得している。

その後、ラッセル・マローン、ランディー・ブレッカー、ジョー・ロック、ロニー・キューパー等のジャズのベテランの率いるグループで活動し。

現在は、自己のグループの他、ケニー・バロン、トム・ハレル、ラッセル・マローンらのグループで活躍している。